



田代中学校区

小中一貫教育便り

鳥栖市立田代中学校 鳥栖市立田代小学校

鳥栖市立若葉小学校 鳥栖市立弥生が丘小学校

No.1 令和3年 7月19日発行

「15の春に素敵な花を咲かせよう」



「リモートでの研修会の様子」



◆6月2日に田代中校区小中一貫教育研究会第1回全体会を4校をリモートで繋いで行いました。今年度は、11月10日(水)に田代中校区小中一貫教育研究発表会があります。

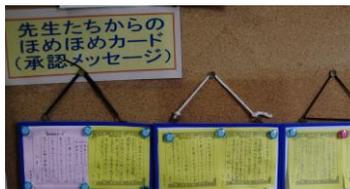
◆田代中校区小中一貫教育共通目標は「小中9年間を通して、豊かな人間性と自立心を培い、「生きる力」をもった児童生徒を育成する」です。各校が共通して取り組む「挨拶・掃除・学習」を柱に、4校の教職員が児童生徒の発達段階を相互に理解し、義務教育9年間における「生活習慣・学習習慣・学習活動（田代スタイル）」の内容や方法に系統性をもたせ、実践することで、更なる学力の向上と社会性の育成に資することを目指していきます。

田代中学校

田代中学校では、各学年とも教科「日本語」の授業を1学期より始めました。1年生では、小学校での学習を踏まえながら中学校3年間を見通すオリエンテーションが実施されました。2年生は川柳を学び、作った作品を掲示したり新聞社に投稿したりしました。3年生は室礼、住居といった日本の伝統文化やマナー、葉隠、論語等について学びました。生徒は、タブレットを上手に使いこなしながら、教師や他の生徒と意見交流をするなど生き生きと活動していました。また、社会科の世界地理、日本地理、歴史の学習で得た知識を関連させながら、気候や文化によって様々な工夫があることや、和風建築の良さに改めて気付くことができたという感想が多く見られました。「論語」は、国語で学習している歴史的な背景をさらに深く知る内容で、授業と違った見方で論語を知り、興味をもった生徒が多かったようです。また、パソコンの読み上げ機能を使って、グループで実際の百人一首の競技を行う授業は、とても盛り上がっていました。

若葉小学校 ①「ほめほめカード」

子どもの自己有用感を高める全校的な「承認・称賛」の取組を行っています。「ほめほめカード」を子どもから子どもに、教師から子どもに書いて、掲示したり放送したりして全校に紹介しています。



②「タブレット端末を活用した授業」

1年生が6年生に教わりながらタブレットを使いました。学年でレベルは違いますが、タブレットを調べ学習に使うだけでなく、プレゼンスライドを作成したり、写真や動画を撮って話し合ったりすることに活用しています。



田代小学校

①マナー教室

身だしなみ、部屋への出入り等の礼儀作法とともに、好きな教科や田代小学校「めざす子ども像」の中で特に頑張りたいこととその理由についての受け答えについて学んで練習を繰り返した成果を校長室で見せてくれました。



②教科「日本語」はきものをそろえよう（1年）

入学から3か月。1年生も、集団での生活を意識して、決まりや順番を守ることもできるようになってきて、6月には「マナー教室」も体験しました。そこで、「トイレのスリッパ」に視点を当て、どうそろえたらよいのか話し合いやロールプレイを通して学習しました。そろえ方だけでなく、はきものをそろえることは、周りの人のことを思いやるマナーであることにも理解を広げることができました。



弥生が丘小学校

1年生 教科「日本語」～ことばであそぼう～



「動画を見ながら」



「お友達と一緒に」

「ことばであそぼう」では、「手遊び歌」をお友達と一緒に声を合わせたり、動画を見ながら同じ動きをしたりして、言葉のリズムを楽しんでいました。「あがりめ さがりめ・・・」や「おてらのおしょさんが・・・」など、大人には懐かしい言葉遊びも1年生の子供たちには新鮮なようで、何度も繰り返して覚えようとしている姿が印象的でした。日本語が持つ、言葉の響きを1年生なりに感じ取っていました。